

令和 6 年度

四国地域におけるアトツギ支援コミュニティ構築促進事業

調査報告書

株式会社パソナ JOB HUB

令和 7 年 2 月

1 事業概要

1.1 事業の背景

現在、中小企業の経営者に占める70歳以上の割合は過去最高となっており、団塊の世代全員が75歳以上になる2025年が迫る中、早期の事業承継を促す必要性が高まっている。また、若い経営者であるほど新規事業や事業再構築に取り組む傾向があり、未来の経営者である中小企業の後継者は地域経済の担い手であり、イノベーションを起こす担い手でもある。

そのため、中小企業の中長期的な成長のためには、後継者・後継者候補（以下、「アトツギ」という。）への支援促進が重要だが、四国地域においては、アトツギに対する支援を体系的に実施している支援機関は決して多くないことから、支援体制の強化が最重要課題となっている。また、アトツギは、新規事業開発等の取り組みに対する評価や、自らの課題を解決する際の相談・壁打ち相手が不足しているといった課題を抱えている。

本事業では、アトツギが行う新規事業、事業再構築等に対する支援内容の検討及び実施、ならびにコミュニティの場の創出支援を実施することで、挑戦するアトツギ及び支援者の裾野を広げるとともに、四国地域におけるアトツギ支援エコシステムの構築を図る。

1.2 事業内容

① 地域の支援機関の選定

「事業終了後以降も継続的にアトツギ支援に関わる意向があるか」、「地域のアトツギの新規事業、事業再構築等の経営課題解決に意欲があるか」等を基準に、愛媛県においては、PlusU 株式会社を選定し、香川県においては、琴平町商工会を選定した。

② アトツギ支援策の検討・実施

愛媛県においては選定した PlusU 株式会社と支援策の検討を行い、11月8日に「アトツギカンファレンス～アトツギがおこす地域革新の可能性～」と題して、セミナー形式にて、アトツギ支援を行った。香川県においては、琴平町商工会と支援策の検討を行い、11月11日に「アトツギが取り組む新規事業・イノベーション創出とは」と題して、セミナー形式にて、アトツギ支援を行った。

③ アトツギ支援コミュニティの構築

愛媛県においては、「地域のアトツギはいま何を考えているのか？」と題し、愛媛県内の「アトツギ」によるトークセッションを開催した。また、参加者と支援機関、自治体等も含めお互いの取り組み状況のシェアを行いコミュニティの構築を図った。香川県においては、「アトツギと考える地域経済の活性化と社会課題解決」と題し、香川県内の「アトツギ」によるトークセッションを開催した。また、参加者と支援機関、自治体等も含めお互いの取り組み状況のシェアを行いコミュニティの構築を図った。また、参加者のアンケート調査を行い、経営資源を活用した新規事業や事業再構築等に興味があるアトツギの把握等を行った。実施の様子については、WEB ページ等で広く情報の発信を行った。

2 アトツギ支援内容の検討・実施

2.1 地域の支援機関の選定

香川県においては、琴平町商工会を選定し、愛媛県においては、PlusU 株式会社を選定した。

2.2 支援策の検討・実施

① 目的

- ・アトツギによる新規事業開発やイノベーション創出のマインド・ノウハウ等を学ぶ
- ・アトツギによる新規事業開発やイノベーション創出の事例を知る

② 概要

選定した PlusU 株式会社と支援策の検討を行い、愛媛県においては、11 月 8 日に「アトツギカンファレンス～アトツギがおこす地域革新の可能性～」と題して、セミナー形式にて、アトツギ支援を行った。1887 年創業の素材メーカー「三星グループ」五代目アトツギ、三星グループ代表岩田真吾氏よりアトツギとスタートアップによる共創について講演を行った。

選定した琴平町商工会と支援策の検討を行い、香川県においては、「アトツギが取り組む新規事業・イノベーション創出とは」と題して、11 月 11 日にセミナー形式にて、アトツギ支援を行った。アトツギ甲子園出場者である有限会社森清掃社 専務取締役 山添 勢 氏、株式会社若林平三郎商店 代表取締役 若林 美樹氏より講演を行った。

2.3 開催内容

<愛媛>

日時	2024 年 11 月 8 日(金)13:30-14:30
開催場所	ネットヨタ愛媛株式会社 だんだん PARK
開催概要	アトツギ（後継者・後継者候補）は地域経済の担い手であり、イノベーションを起こす担い手であり、社会課題を解決する担い手でもある。本イベントでは地域のアトツギが集まり、これからの事業戦略や地域の可能性を探った。 1887 年創業の素材メーカー「三星グループ」五代目アトツギ、三星グループ代表岩田真吾氏よりアトツギとスタートアップによる共創について講演行った。
内容	13:30-13:45 オープニング 13:45-14:30 講演 「マッチングじゃなくクロッシング！アトツギとスタートアップの掛け算が生む新しい価値とは？」 登壇者 ・三星グループ代表 岩田 真吾氏

<香川>

日時	2024 年 11 月 11 日(月)14:00-15:20
開催場所	琴平町公会堂
開催概要	アトツギ（後継者・後継者候補）は地域経済の担い手であり、イノベーションを起こす担い手であり、社会課題を解決する担い手でもあります。本イベントでは地域のアトツギが集まり、これからの事業戦略や地域の可能性を探ります。
内容	14:00-14:15 オープニング 14:15-14:40 企業プレゼン「アトツギが取り組む新規事業・イノベーション創出とは」 有限会社森清掃社 専務取締役 山添 勢 氏 株式会社若林平三郎商店 代表取締役 若林 美樹 氏 14:40-15:20 トークセッション モデレーター PlusU 株式会社 稲見 益輔 氏 15:20-15:30 クロージング

3 アトツギ支援コミュニティの構築

3.1 実施概要・目的

①目的

- ・事業承継前後のアトツギが直面する様々な課題を共有し相談できる環境ができる
- ・アトツギが、業務改善、DX、組織力強化、新規事業等に取り組みたいときに、アトツギ同士や支援機関と連携できるようになる

②概要

愛媛県においては、11月8日に「地域のアトツギはいま何を考えているのか」と題して、トークセッション形式で松山地域におけるアトツギに登壇頂き、「いま考えていること」をトークセッションで深掘りするとともに、交流と学びの共有の時間を設けた。ネットヨタ愛媛株式会社 玉置 氏、株式会社山田屋 高辻 氏、株式会社レスパスコーポレーション 越智 氏をゲストに迎えた。

香川県においては、11月11日に「アトツギと考える地域経済の活性化と社会課題解決」と題して、トークセッション形式で琴平地域における取組を紹介するとともに、交流と学びの共有の時間を設けた。株式会社 KONPIRA DROP STORIES 池 氏、琴平バス株式会社 楠木 氏、琴平町商工会 住谷 氏をゲストに迎え、株式会社地方創生 近江 氏をモデレーターとしてトークセッションを行った。また、アンケートによる調査を行った。

3.2 開催内容

<愛媛>

日時	2024 年 11 月 8 日(金)14:30-15:35
開催場所	ネットヨタ愛媛株式会社 だんだん PARK
開催概要	アトツギ（後継者・後継者候補）は地域経済の担い手であり、イノベーションを起こす担い手であり、社会課題を解決する担い手でもあります。本イベントでは地域のアトツギが集まり、これからの事業戦略や地域の可能性を探ります。 1887 年創業の素材メーカー「三星グループ」五代目アトツギ、三星グループ代表岩田真吾氏よりアトツギとスタートアップによる共創について講演を行います。

内容	14:30- トークセッション 「地域のアトツギはいま何を考えているのか？」 登壇者 ・ ネットトヨタ愛媛株式会社 代表取締役社長 玉置 竜氏 ・ 株式会社山田屋 取締役 高辻 孝将氏 ・ 株式会社レスパスコーポレーション 事業本部広報 越智 友莉氏 モデレーター ・ PlusU 株式会社 代表取締役 稲見 益輔氏 15:20- アトツギ同士の交流と学び共有 15:35- ご案内・交流
----	---

<香川>

日時	2024 年 11 月 11 日(月)15:45-17:15
開催場所	琴平町公会堂
開催概要	アトツギ（後継者・後継者候補）は地域経済の担い手であり、イノベーションを起こす担い手であり、社会課題を解決する担い手でもあります。本イベントでは地域のアトツギが集まり、これからの事業戦略や地域の可能性を探ります。
内容	15:45-16:55 トークセッション 「アトツギと考える地域経済の活性化と社会課題解決」 登壇者 株式会社 KONPIRA DROP ST 五人百姓 池商店 28 代目 池 龍太郎 氏 琴平バス株式会社 代表取締役 楠木 泰二郎 氏 琴平商工会 経済指導員 住谷 健治 氏 モデレーター 株式会社地方創生 代表取締役 近江 淳 氏 16:55-17:10 アトツギ同士の交流と学び共有 17:10-17:15 クロージング

3.3 情報の発信

①目的

- ・事業承継前後のアトツギが直面する様々な課題を共有し相談できる、またアトツギが挑戦しやすい環境整備のため、四国におけるアトツギ支援コミュニティの構築を図る。
- ・先進事例を発信することで、アトツギの取組促進や、支援機関の新たな支援のきっかけ作りを行う。

②概要

実施の様子について、ウェブサイト等で情報の発信を行うべく「地域発信型ソーシャルグッドマガジン」である「LOCAL LETTER」に掲載を行い、広く情報の発信を行った。また、先進的な事例である有限会社森清掃社の山添氏へのインタビューを記事化することで、地域におけるアトツギ支援の機運の高まりと、アトツギが行う新規事業、事業再構築等への取組を促進させるきっかけ作りを行った。

LOCAL LETTER① (https://localletter.jp/articles/atotsugi_shikoku/)

アトツギの燃やす火を、地域の希望に。四国から始まる挑戦の種火

LOCAL LETTER② (https://localletter.jp/articles/moriseisou_yamazoe/)

ゼロから挑む浄化槽ビジネス。アトツギが守りたい、故郷の未来

以上